

平成 21 年 2 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社 L T T バイオファーマ
表 者 名 代表取締役社長 鈴木 巖
(コード番号 4 5 6 6 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取締役研究開発本部長 新居 泰
(T E L 0 3 - 5 7 3 3 - 7 3 9 1)

子会社株式の譲渡及び特別利益の発生ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の連結子会社である株式会社ソーレの全株式を譲渡することを決議いたしましたことをごお知らせいたします。

なお当該株式譲渡に伴い、平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）において、以下のとおり特別利益を計上いたしますのでお知らせするとともに平成 20 年 5 月 15 日付け当社「平成 20 年 3 月期 決算短信」および平成 20 年 10 月 29 日付当社「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました連結ならびに個別業績予想につきましても下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。なお、今回の株式譲渡手続きにつきましては顧問弁護士等に確認の上、取締役会決議としております。

記

1. 株式譲渡の理由

経営資源を創薬事業ならびに E I P 事業に集中させるため

2. 譲渡内容

(1) 譲渡する子会社の概要

商 号： 株式会社ソーレ
代表者： 代表取締役社長 春名 一夫
所在地： 東京都港区愛宕二丁目 5 番 1 号
設立年月日： 平成 17 年 10 月 5 日
主な事業内容： 調剤薬局運営
決算期： 3 月
従業員数： 18 名（平成 21 年 1 月 31 日現在）
主な事業所： 神奈川県川崎市
資本金： 10 百万円
発行済株式総数： 200 株
株主構成： 株式会社 L T T バイオファーマ 100%

(2) 譲渡する子会社の経営成績

(単位：百万円)

	平成 20 年 3 月期	平成 21 年 3 月期 (注)
売上高	1,176	1,026
営業利益	47	52
経常利益	44	51
当期利益	32	35
総資産	360	465
純資産	33	68

(注) 平成 21 年 3 月期の実績は平成 20 年 4 月 1 日から平成 21 年 1 月 31 日までの 10 ヶ月間のものであります。

3. 株式の譲渡先

- (1) 商号： クラフト株式会社
- (2) 代表者： 代表取締役社長 森要
- (3) 本店所在地： 東京都千代田区麴町 5-1 NK 真和ビル
- (4) 資本金： 1 億円
- (5) 事業内容： 調剤薬局運営
- (6) 当社との関係： なし

4. 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式数の状況

- (1) 譲渡前の所有株式数 200 株 (所有割合 100%)
- (2) 譲渡株式数 200 株 (譲渡価格 580 百万円)
- (3) 譲渡後の株式数 0 株 (所有割合 0%)

5. 譲渡日程

- 平成 21 年 2 月 25 日 取締役会決議、株式譲渡契約締結
- 平成 21 年 2 月 25 日 株式譲渡決済

6. 特別利益の発生

当該譲渡に伴い、平成 21 年 3 月期に以下の子会社株式売却益を計上する見込みであります。

(連結)

520 百万円

(個別)

570 百万円

7. 業績予想の修正

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	942	△665	△460	23	174	41
今回修正予想 (B)	1,251	△901	△688	27	204	75
増減額 (B-A)	309	△236	△228	4	—	—
増減率 (%)	32.8	—	—	17.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	1,233	△1,601	△1,105	△7,172	△68,893	56

平成 21 年 3 月期通期個別業績予想値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想 (A)	28	△747	△385	107	815	04
今回修正予想 (B)	24	△952	△589	82	621	83
増減額 (B-A)	△4	△205	△204	△25	—	—
増減率 (%)	△14.2	—	—	△23.3	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	56	△1,648	△1,357	△7,379	△70,877	19

修正の理由

(連結)

売上高については株式譲渡の日程がずれ込んだために 1,251 百万円となりました。

また、棚卸資産の評価において貯蔵品全額を費用計上する見込みとなったため、営業利益および経常利益はそれぞれ△901 百万円および△688 百万円となりました。一方、子会社株式の譲渡により特別利益が発生するため、当期純利益は 27 百万円となりました。

(個別)

売上高についてロイヤリティ収入が前回発表予想よりも減少したために 24 百万円となりました。営業利益および経常利益は連結業績予想と同様の理由で、それぞれ△952 百万円、△589 百万円となりました。また、当期純利益につきましても連結業績予想と同様の理由により 82 百万円となりました。

8. 今後の見通し

連結売上高の多くを占めておりました連結子会社の全株を譲渡することで、調剤薬局事業を廃止することにより連結売上高の減少が見込まれますが、今後当社は創薬事業ならびに E I P 事業に経営資源を集中させ、事業を継続してまいります。また、この株式譲渡により 2009 年 3 月期のキャッシュ・フローは大幅に改善いたします。

現時点における来期の売上高は創薬事業において複数のパイプライン (AS-013、PC-SOD 他) のライセンス交渉が順調に進んでいるため、来期以降に契約一時金収入を見込んでお

ります。さらに、E I P 事業においては製剤打錠用のE I P 杵、臼に加えE I P 技術の他製品への応用による売上を見込んでおります。これらの現況を踏まえ、来期の売上高につきまして創薬事業およびE I P 事業で 120 百万円を見込んでおりますが、来期予算は現在策定中であるため、交渉中の案件の進捗状況次第では数千万円の上積みを行う可能性があります。来期予算の詳細につきましては、まとまり次第速やかに公表いたします。